

科学研究費補助金「一橋大学社会科学古典資料センター所蔵の旅行記についての研究」中間報告

Interim Report : Grants-in Aid for Scientific Research “Study on Books of Travel Deposited at the Center of Historical Social Science Literature, Hitotsubashi University”

江夏由樹・福島知己・床井啓太郎

ENATSU Yoshiki, FUKUSHIMA Tomomi and TOKOI Keitaro

1. はじめに

一橋大学社会科学古典資料センターが所蔵する資料はメンガー文庫、ギールケ文庫、フランクリン文庫、左右田文庫、ベルンシュタイン・スヴァーリン文庫、一般貴重書等のコレクションからなる。それらコレクションには、主に、1850年以前に刊行された欧語図書（約8万冊）、さらに、多数のパンフレット、マニュスクリプト等が収められている。それぞれのコレクションが収蔵されるに至った経緯は大変興味深く、そこにある資料一冊一冊の学術的価値は大変高い。所蔵されている資料の多くが経済学説史、経済思想史、社会思想史などの分野に関わる文献であることから、これまで、そうした研究領域における、センター資料の利用は活発であり、その研究成果も数多い。同時に、センターを拠点とした、西洋古典資料に関する書誌学的な研究も着々と進められてきた。

一方、上記以外の研究分野においても、センターに収められている資料をどのように活用していくかということは重要な課題となってくる。例えば、そこにある文献・文書（マニュスクリプト）などを史料として利用する、歴史研究の可能性も探らなくてはならない。そうした問題意識から、現在、センターを拠点として、科学研究費補助金による二つの歴史研究プロジェクト（挑戦的萌芽研究）が進められている。一つは、センターが所蔵するロブリエール家という中世フランス貴族の家政に関する私文書の整理・分析を目指すものであり、もう一つは、18・19世紀の西欧人によって記された旅行記の研究である。本稿は、この旅行記の研究についての中間報告である。

2. センター所蔵の旅行記の概要

古典資料センターには、西欧人らが19世紀半ば以前に記した旅行記がかなりの数で所蔵されている。例えば、メンガー文庫には「Reisen」という項目のもとに931点の、また、その他のコレクションにも相当数の旅行記が残されている。本研究はそうした旅行記群の全体像、また、そこから、特筆すべき資料を抽出し、その内容を一冊一冊について明らかにしていくことを試みている。

本プロジェクトは、まず、英語、仏語、独語に通じた大学院生の協力を求め、「表1」に示す書式に則して、各旅行記の内容を要約する作業を進めている。研究協力者は、各資料について、

旅行記の言語、著者、実際の旅行者、旅行の時期・期間、旅行の目的、その目的地・経路、地図・挿絵の有無、特記事項などをまとめている。その作業はまだ途中であるが、現時点におけるその成果は「表2」に示すとおりである。この表にある一冊一冊が大変興味深い。こうした初歩的な作業を進めるなかで、本プロジェクトは次のような点を明らかにすることができた。第一に、古典資料センターが所蔵する旅行記の数は当初予想していたより多く、この研究プロジェクト自体がかなり大規模なものとなる可能性を確認できた。第二に、ロシア語で記された資料が少なくないことから、ロシア語に通じた研究者の協力体制を整える必要がある。第三に、日本国内では、本センターのみが所蔵している資料の特定を急ぎ、そうした資料については電子化・その公開を促進する方策を探っていかななくてはならない。第四に、各資料に収められている地図・挿絵などには貴重なものが少なくないことから、その画像を電子化・公開していくことも重要である。第五に、各旅行記の内容は、かなり信頼に足るものから、虚実混交な記載に満ちたもの、さらには、実際の旅行の記録であるかどうか疑わしいものなど、様々である。各旅行記の内容について、実証的な視点から、その内容を検証していく作業が肝要となってくる。その際、旅行記の記述対象となった側が残した記録によって、旅行者たちの足跡を辿ることが出来るならば、大変興味深い。第六に、これまで必ずしも広く知られた存在ではなかったものの、学術的価値の高い旅行記を見出していくことも、本プロジェクトの重要な課題の一つとなる。次節では、いくつかの資料を具体的に紹介するかたちで、上記の点を少々詳しく例示したい。

3. 所蔵する旅行記の例示

(1) ヴァシーリィ・ゴロヴニン（ロシア人）の日本滞在記録

ロシアの海軍少佐であったゴロヴニンは、1811年、軍艦ディアナ号でクリル諸島の測量を行っていたが、国後島において日本側に捉えられ、1813年まで、函館、松前で取り調べを受けた。かれはその間の記録を帰国後にまとめたが、これは当時の日本・日本人を描いた貴重な史料となっている。

その初版本が、Головнин, Василий Михайлович, Записки флота капитана Головнина о приключеніяхъ его въ плѣну у японцевъ въ 1811, 1812 и 1813 годахъ, 3 ч. (サンクトペテルブルク、1816年、ロシア語)である。原題は日本語に翻訳すると、『1811、1812、1813年の日本人のもとにおける拘禁中の諸事件に関する海軍少佐ゴロヴニンの手記』となる。本書は、その後、ロシア語から英・仏・独語に訳され、さらに、独語からオランダ語に翻訳され、その和訳が、文政年間（1821-25年）に『遭厄日本記事』（訳者：馬場佐十郎ら）として刊行された。

本センターはこのロシア語の初版本、また、英訳初版本である *Narrative of My Captivity in Japan, during the years 1811, 1812 & 1813, 2 vols.* (ロンドン、1818年) を所蔵している（それぞれ、貴A 703、貴A 202）。センターが所蔵するロシア語の初版（【図版1】）は、日本の外交官として戦前に長くモスクワに滞在した嶋田滋氏が所蔵していたものであり、その後、そのご家族から寄贈を受けたものである。その経緯については、中村喜和「ロシア語蔵書のことなど」（『鐘：一橋大学附属図書館報』No. 3、(1980. 2)）に詳しい。

本書は、ゴロヴニン（井上満訳）『日本幽囚記』（岩波文庫、1943年）として日本語に翻訳されたが、原本にある地図等は収められていない。

なお、日本で囚われの身であったゴロヴニンが所持していた書籍のなかに、イワン・タチー

シチェフ『仏露辞書』（1798年）があった。ゴロヴニンが帰国した際、この辞書は通訳を務めたオランダ通詞出身の馬場佐十郎に贈られた。その後、幕府天文方等の所蔵を経て、現在、この辞書の上巻は本センターに、下巻は静岡県立図書館葵文庫に所蔵されている。上巻には、恐らく、ゴロヴニン自身による書き込み（ロシア語）があり、そこには、「ワシリー・ゴロヴニン蔵書／於ペテルブルグ、1802年5月16日／値段 2冊14ルーブリ／27番」と書かれている（【図版2】）。この辞書の由来についても、中村喜和「館蔵『仏露字書』綺談」『一橋大学附属図書館史』（昭和50年10月）、上掲「ロシア語蔵書のことなど」などに詳しい紹介がある。

(2) ベニョフスキーのアジア・太平洋航海記

ベニョフスキーは1746年にハンガリーで生まれた。彼は若き日にポーランド軍に加わり、ロシアと戦って捕虜となり、カムチャツカに流された。彼は1771年、同志とともにロシアの軍艦（スピャトイ・ピョートル）を奪って太平洋に出て、日本、奄美大島、台湾を経て、マカオに達した。そして、ヨーロッパに帰った後、1786年にマダガスカルにおいてその波乱万丈の生涯をとじた。ベニョフスキーはその『回想・旅行記』をフランス語で刊行しようとしたが果たせず、1790年、その英訳が最初に刊行された。その後、独・仏・ポーランド・オランダ語等の翻訳が相次いで刊行された。そこにある日本近海の航海、短期上陸の叙述などは、大変興味深い記録となっている。本センターはその初版（英語）を所蔵している（【図版3】）。*Memoirs and travels of Mauritius Augustus Count de Benyowsky, magnate of the Kingdoms of Hungary and Poland, one of the chiefs of the Confederation of Poland, &c, &c consisting of his military operations in Poland, his exile to Kamchatka, his escape and voyage from that peninsula through the Northern Pacific Ocean, touching at Japan and Formosa, to Canton in China, with an account of the French settlement he was appointed to form upon the Island of Madagascar*, London, 1790. (Franklin 3431 ~ 3434)

本書の日本語訳は、ベニョフスキー（水口志計夫・沼田次郎編訳）『東洋文庫160：ベニョフスキー航海記』（平凡社、1970年）であるが、これは原書的全訳ではなく、日本に関する部分についてのみの翻訳である。また、原書に収められている図版は大変興味深いのが、日本語訳は図版を収めていない。これら図版の電子化・公開を今後のセンターの課題としたい。

(3) ジョージ・マカートニーの中国旅行記

ジョージ・マカートニーはイギリスの国王ジョージ3世の全権大使として、1793～94年に乾隆帝治下の中国に派遣された。これまで、マカートニー自身、また、この使節団メンバーによる各種の記録が刊行されてきた。例えば、財団法人東洋文庫が所蔵するジョージ・モリソン蒐集によるマカートニー関係史資料にあるマニユスクリプト、*A Journal of the Embassy to China in 1792, 1793, 1794* は、この時の公式記録を補うものとしてマカートニーが記していた日記である。その日本語訳がマカートニー（坂野正高訳注）『東洋文庫 277：中国訪問使節日記』（平凡社、1975年）である。マカートニーの使節には、例えば、副使格の書記官 Sir George Leonard Staunton、その息子である George Thomas Staunton、(ラテン語、ギリシャ語、フランス語、中国語を解す)、随員 Aeneas Anderson 等が同行していた。

センターにはスタウントン、アンダーソンら使節メンバーが残した記録、また、スタウントン親子の記した書物なども幾つか収められている。

Aeneas Anderson, *A Narrative of the British Embassy to China, in the years 1792, 1793, & 1794*, London, 1795

George Staunton, *An Historical Account of the Embassy to the Emperor of China: undertaken by order of the King of Great Britain*. London, 1797 (【図版4】)

Sir George Thomas Staunton, *Miscellaneous Notice Relating to China, And our Commercial Intercourse with that Country, Including a Few Translations from The Chinese Languages*, London, 1822.

こうした旅行記、また、当時のイギリス人による中国紹介の書物は、当時の西欧社会のアジア・中国への理解がどのようなものであったかを探る貴重な史料となっている。本センターがそうした資料類をコレクションとして有していることを確認できたことの意味は大きい。

(4) トウリシェンのシベリア紀行

康熙 51 (1712) 年 5 月、清朝の命により、満洲人の図理深 (トウリシェン) らの一行 30 余名は北京を出発、内外蒙古からロシア領のシベリア・ヨーロッパ方面に向かい、当時、カスピ海の北方に住牧していた (西モンゴル族の) トゥグートのハーンのもとを訪れ、康熙 54 年 3 月に北京に戻った。その時の旅行記が『異域録』であり、満文本と漢文本がある。この旅行記は当時のロシア領シベリア・ヨーロッパ地域の様子を記した貴重な記録であり、その後、仏語 (ゴピール訳、1729-32 年)、独語 (ミュラ訳: 部分訳、1760 年)、英語 (スタウントン訳)、ロシア語 (ロソヒン訳、1764 年) 等に翻訳された。今西春秋訳注・羽田明編訳『異域録』は満文本、漢文本の双方を研究の対象とした日本語訳として有名である。

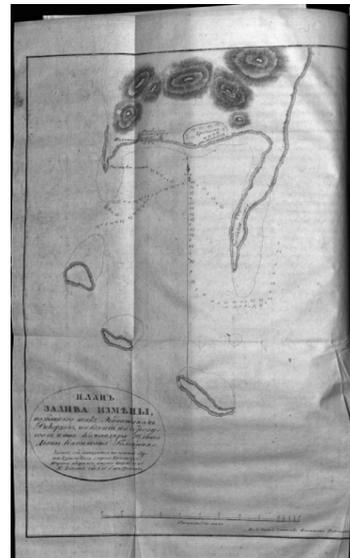
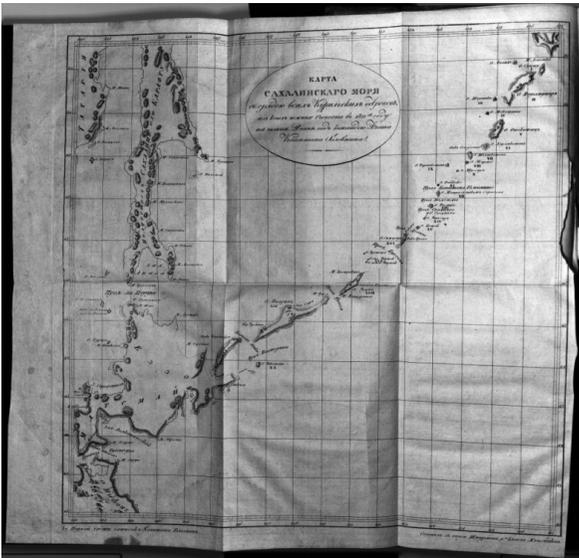
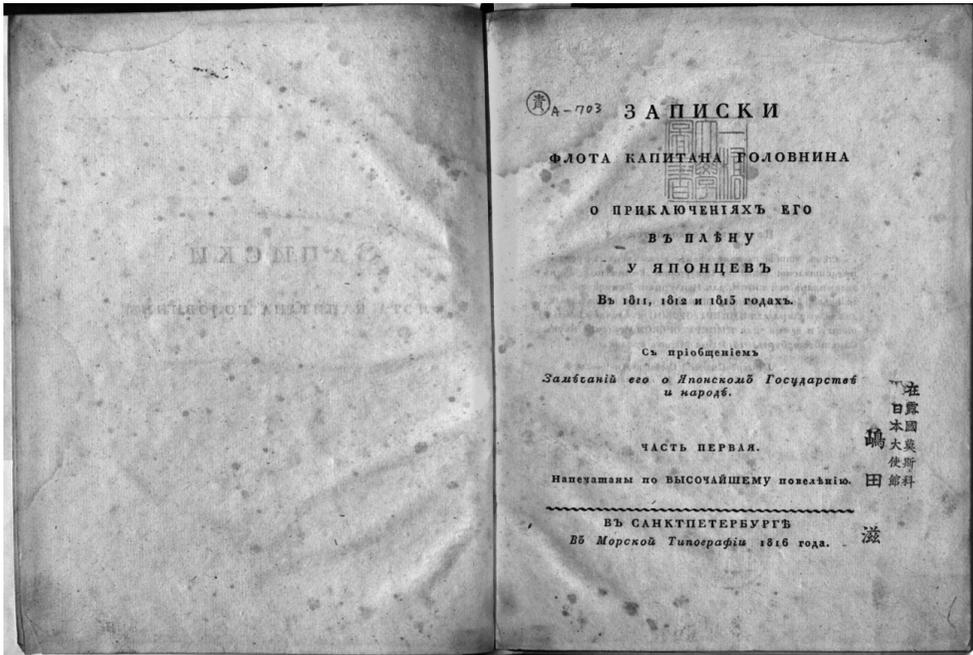
興味深い点は、マカートニーの使節に同行した、上記のスタウントン (息子) が本書の英訳を行っていたことである。Staunton, Sir G.H. *Narrative of the Chinese Embassy to the Khan of the Tourgouth Tatars, in the years 1712, 13, and 15, by the Chinese ambassador, and Published by the Emperor's Authority, at Peking*. London, 1821 (貴 A 217)

この英訳は 150 部印刷されたとされるが、その 1 冊をセンターが所蔵している。

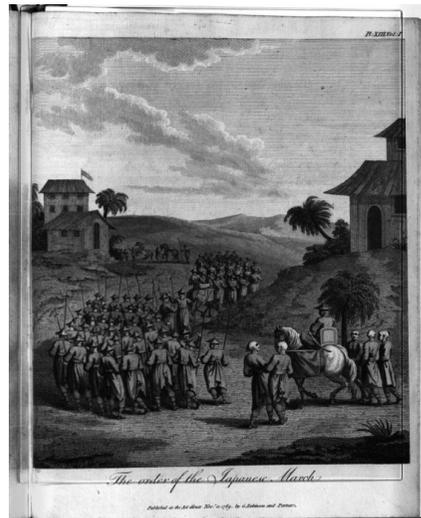
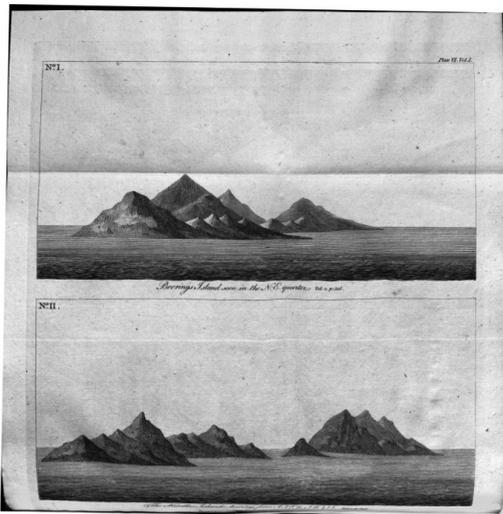
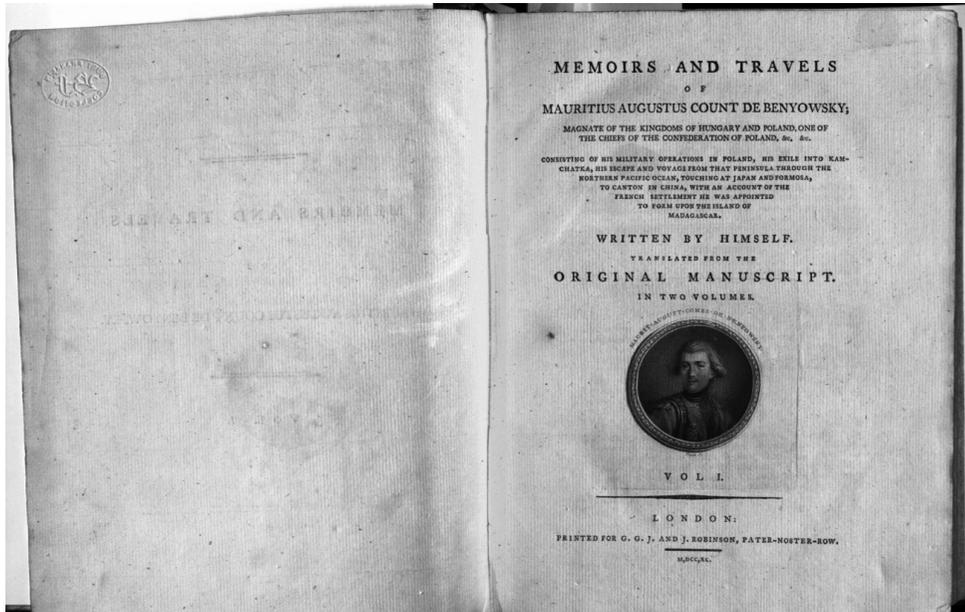
4. まとめ

本報告は、古典資料センターが所蔵している旅行記に分類されるコレクションの概要、また、そこに収められているいくつかの興味深い旅行記について簡単な紹介を行った。旅行記は記録を残した人々と、記録された人々の歴史が同時に記された歴史史料である。また、異なった世界観、価値観等を有した人々・世界がどのように交流し、相互に理解を深めていこうとしたのかという記録でもある。例えば、ロシア人のゴロヴニンと幕藩体制のもとにいた日本人との交流の記録などは、その好例であろう。旅行記を研究することは、そうした先人の異文化体験の記録、そこにある智慧を明らかにしていくことを意味する。グローバル化という時代のなかで、本プロジェクトを進める意義もそこにあると考える。最後に、旅行記一点一点に目を通し、データをまとめている研究協力者 7 名に感謝の意を表したい。

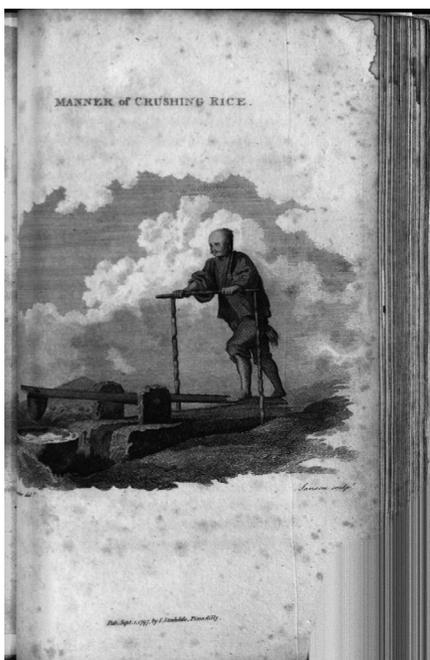
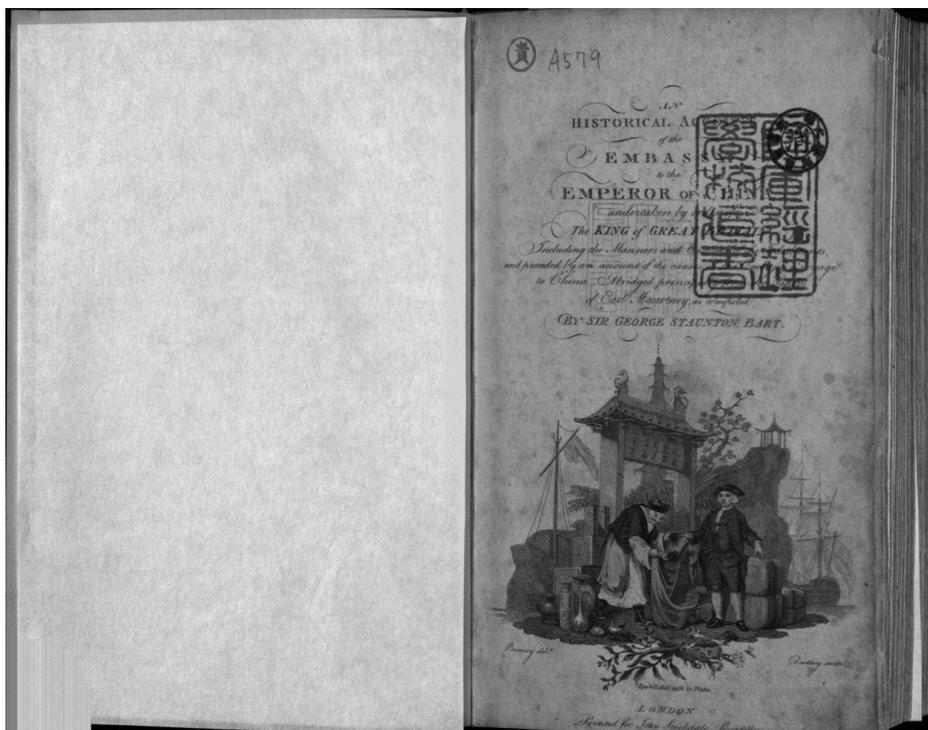
(一橋大学社会科学古典資料センター長、一橋大学大学院経済学研究科教授)



【図版1】ゴロヴニン『日本幽囚記』(ロシア語初版) 標題紙と挿入されている地図



【図版3】『ベニヨフスキー航海記』（英語版初版） 標題紙と挿入されている図版2点。左の図版には「Beering Island seen in the N.E. quarter」（上）、「The Kurilles Islands bearing from S.S.E to SWIQS」（上）、右の図版には「The order of the Japanese March」とキャプションがある。いずれにも「Published as the Act directs Nov. 12. 1789. by G. Robinson and Partners」と記されている。



【図版4】スタウントンの著作の標題紙と挿入されている図版1点。図版のキャプションには「MANNER of CRUSHING RICE」とある。

表1

社会科学古典資料センター

Center for Historical Social Science Literature

20 年 月 日

記入者

請求記号		資料番号	
書名			
著者名			
発行年	年	使用言語	英語 独語 仏語 伊語 ※丸をつける
挿図	有 無 丸をつける(有)の場合作り書き→()枚 [内、カラー()枚] で、内容は、人物()枚、風景()枚、物産() 枚、その他()()枚で、面白い(該当の圈)		
地図	有 無 丸をつける(有)の場合作り書き→()枚 [内、カラー()枚] で、内容は、()枚で、面白い(該当の圈)		
旅行者	著者と同じ それ以外 丸をつける(有)の場合作り書き		
旅行の年代	年(頃) ※「頃」が必要な場合は		
旅行目的			
経路・訪問地			
同行者			
内容概略			

表 2

番号	請求記号	書名	著者名	発行年	言語 (原本は日本語)	挿図	地図	旅行者	同行者	旅行年代	旅行目的
1	Menger Reisen 660	Die älteren Reisen nach dem Osten Japans 『更級日記』、『富士紀行』、『武蔵野紀行』 等の翻訳	菅原孝標女、藤原 雅世、平氏兼、豊 臣勝後 訳August Pflzmaier	1880	独語 (原本は日 本語)	0	0	著者と同じ	不明。	11世紀～	不明。
2	Menger Reisen 661	Zwei Reisen nach dem Westen Japans in den Jahren 1369 und 1389 n. Chr. 『道ゆきぶり』、『鹿苑院義満公祓烏詣記』 の翻訳	著源貞世 (今川 了俊) 訳August Pflzmaier	1881	独語 (原本は日 本語)	0	0	著者と同じ	『道ゆきぶり』不明。『鹿苑院義満公祓烏詣記』足利義満	1371年、1389年	『道ゆきぶり』不明。『鹿苑院義満公祓烏詣記』祓烏詣をするこ と。
3	費A 199	Atlas Japannensis : being remarkable ad- dresses by way of embassy from the East- India Company of the United Provinces, to the Emperor of Japan	Arnoldus Montanus	1670	英語	93	2	オランダ東イン ド会社の使節団 (Anthonius van Bronkhorst, Andreas F. Hystus)	オランダ東インド会 社の人たち	1600年頃～ 1650 年頃	日本のキリスト教に年々4000ク ラウン渡す キリスト教の布教 貿易
4	Franklin 3258	A Journal of an embassy from Their Maj- esties John and Peter Alexievits, emperors of Muscovy, &c. over land into China, through the provinces of Ustughia, Siberia, Dauri, and the Great Tartary, to Peking, the capital city of the Chinese empire, by Everard Isbrand, their ambassador in the years 1693, 1694, and 1695	Adam Brand	1698	英語 (原本は独 語)	3	0	著者とEverard Isbrand	使節の人々	1692年3月13日～ 1695年2月11日	ロシアの皇太子をはじめとする 有力者たちが、中国の皇帝に最 高の使節を派遣しようとして いた。ドイツイ生まれのEverard Isbrandは二人のツアーリにより 使節に推薦された。中国の皇帝 に謁見し、贈り物を譲渡した。
5	Franklin 3467, 3468, 3469	A. de La Motrayes Travels through Euro- pe, Asia and into part of Africa : containing a great variety of geographical, topogra- phical and political observations on those parts of the world . . . with an historical account of the most considerable events which happened during the space of above twenty-five years spent in those travels ... 3 v.	Aubry De La Motraye	1732	英語 (原本は仏 語)	56	16	著者と同じ	現地の人、 Count Tallard (駐 英大使、のちに陸軍 元帥) 等	1696年～ 1729年	知識を得るため、好奇心を満た すため 明確に書かれていないが、おそ らく異教徒への関心が強い (そ のトルコまで) ヨーロッパの旅に関しては、目 的が曖昧
6	費A 510(1)- (4)	Description géographique, historique, chro- nologique, politique, et physique de l'Em- pire de la Chine et de la Tartarie chinoise ; enrichie des cartes générales et particu- lières de ces pays, de la carte générale et par- ticulière des cartes particulières du Thibet, & de la Corée ; & ornée d'un grand nombre de figures & de vignettes gravées en taille- douce, 4 v.	Jean-Baptiste du Halde編	1736	仏語	31	46	中国に派遣されたイ エズス会の宣教師27 名	上流した27名の宣教 師が各担当地域を分 担して執筆した。	1708年7月4日～ 1734年7月30日	旅行記そのものではない。ヨー ロッパは長いこと中国及びその 周辺諸国に関心、眼差しを向け ていた。大航海時代の交易商 人のヨーロッパの人たちの関心を 誘ったが、それらの記述は不正 確極まりないものであった。そ のため現地に派遣されたイエズス会宣教 師らに、正確で新しい情報を伝 えてもらう必要があった。
7	費A 217	Narrative of the Chinese Embassy to the Khan of the Tourgouth Tartars, in the years 1712, 13, 14, & 15 / by the Chinese ambassador, and published, by the Em- peror's Authority, at Peking	中国大使T'u-h-shin, Sir George Thomas Staunton訳	1821	英語 (原本は中 国語)	0	1	著者と同じ	使節団	1712年～ 1715年	ロシアとの外交交渉

番号	請求記号	書名	著者名	発行年	言語	挿図	地図	旅行者	同行者	旅行年代	旅行目的
8	Menger Reisen 71(1)(3)	Voyages depuis St. Petersbourg en Russie dans diverses contrées de l'Asie ... , 3 v.	Jean Bell d'Antermony	1766	仏語 (原本は英語)	0	1	著者と同じ	【北京への旅】 Leoff Yassilowitch Ismayloff, M. de Lange (スウェーデン出身のロシア全權大使), M. Grave (Curlande生まれの人) 【コンスタンティンブルへの旅】 M. Venigerkind, de Vilette, M. Kurdeffki	1719年7月14日 1759年1月5日(オランダ・ベテルスブルグから北京への旅) 1715年7月15日(オランダ・ベテルスブルグからコンスタンティンブルへの旅)	ビョートル1世が派遣する大使に随行員として同行することになった。
9	費A 198	An voyage to the East Indies in 1747 and 1748 : containing an account of the islands of St. Helena and Java, of the city of Batavia. Of the government and political conduct of the Dutch, of the empire of China, with a particular description of Canton; and of the religious ceremonies, manners and customs of the inhabitants ...	Robert Wilson	1762	英語	11	0	著者と同じ	何人かの若者	1747年～1748年	旅をして、多くの人と会ってみたいから、東インド会社の船に同行
10	Franklin 3431, 3432, 3433, 3434	Memoirs and travels of Mauritius Augustus Count de Benyowsky, magnate of the Kingdoms of Hungary and Poland, one of the chiefs of the Confederation of Poland, &c. &c. ; consisting of his military operations in Poland, his exile into Kamchatka, his escape and voyage from that peninsula through the Northern Pacific Ocean, touching at Japan and Formosa, to Canton in China, with an account of the French settlement he was appointed to form upon the Island of Madagascar. 4 v.	Mauritius Augustus Count de Benyowsky 翻訳: W. Nicholson	1790	英語	15	9	著者と同じ	著者とともにシベリアから脱出した人 Mr. Panow, Mr. Kuznecow, Mr. Wynbradth, Mr. Stephanowなど75人。同乗者も含めると96人。マカオで多くの人が病死。	1767年～1776年	1巻の序章～4章：ロシア軍に捕まり、シベリアへ流されたため、カムチャッカへ向かった。1巻の30,31章～2巻の前半：カムチャッカからの脱走 2巻のp98～：フランスのマダガスカル島植民計画に携わるため。
11	Menger Reisen 77(1)(2)	Des Grafen Beniowski Reisen durch Sibirien und Kamtschatka über Japan und China nach Europa. Erste Abtheilung. Des Grafen Beniowski Reise aus Kamtschatka über Kanton nach Europa. Zweite Abtheilung. 2 v.	著者Benyowsky Moric Agost 編者William Nicholson	1792	独語 (原本は仏語)	4	0	著者と同じ	Vasili Panow, Hippolyt Stephanow, Asaph Baturin, Iwan Solmanow他、合計96人。	1769年～72年	ベニョフスキの流刑地カムチャッカからヨーロッパに早急に帰還すること。
12	Menger Reisen 8431(4)	oyages de C.P. Thunberg au Japon, par le Cap de Bonne-Espérance, les îles de la Sonde, &c. / traduits, rédigés et augmentés de notes considérables sur la religion, le gouvernement, le commerce, l'industrie et les langues de ces différentes contrées, particulièrement sur le Japon et le Malai, par L. Langlet ... ; et revus, quant à la partie d'histoire naturelle, par J.B. Lamarck. 4 v.	C.P. Thunberg	1796	仏語	23	0	著者と同じ	明記なし?	1770年8月13日～ 1779年3月14日	植物採集

番号	請求記号	書名	著者名	発行人	言語	挿図	地図	旅行者	同行者	旅行年代	旅行目的
13	Menger Reisen 795(1)(4)	Voyage aux Indes orientales et a la Chine : fait par ordre de Louis XVI, depuis 1774 jusqu'en 1781 : dans lequel on traite des mœurs de la religion, des sciences et des arts des Indiens, des Chinois, des Pegouins et des Madéagasses, suivi d'observations sur le cap de Bonne-Espérance, les îles de France et de Bourbon, les Maldives, Ceylan, Malacca, les Philippines et les Molouques, et de recherches sur l'histoire naturelle de ces pays, etc., etc., 4 v.	M. Somnerat (海軍主計官、フランス学土院特派員)	1806	仏語	0	0	著者と同じ	明記なし	1774年～1781年	既に博物学者として十分な業績を有するM. Somneratにフランス政府が研究の継続を支援し、本旅行が成立した (p. xv).
14	Menger Reisen 87 (1)(2)	Voyage fait par ordre de l'impératrice de Russie Catherine II, dans le nord de la Russie asiatique, dans la mer Glaciale, dans la mer d'Anadyr, et sur les côtes de l'Amérique, depuis 1785 jusqu'en 1794, par le Commodore Billings, 2 v.	Sauer. (本航海の秘書官兼通訳)	1802	仏語 (原本は英語)	0	0	著者と同じBillings (イギリス海軍司令官)	探検隊一行	1785年8月8日～ 1794年3月10日	ロシアで最も早く隔たった領土、並びにシベリアやアフリカ等々の間をまたいだ航路の発見が詳しく観察する時間的な北極沿岸の対岸地域に関する地理学上の知見を補完するため
15	Menger Reisen 88 (1)	Reise nach Siberien, Kamtschatka und zur Untersuchung der Mündung des Kowima-Flusses, der ganzen Küste der Tschutschken und der zwischen dem festen Lande von Asien und Amerika befindlichen Inseln, Auf Befehl der Kaiserin von Rußland, Catharina der Zweyten, in den Jahren 1785 bis 1794 unternommen vom Kapitän Joseph Billings und nach den Original-Papieren herausgegeben von Martin Sauer, Sekretär der Expedition	秘書兼日記記録者 (Sekretär und Tagebuchführer). マルティン・サウアー (Martin Sauer)	1803	独語 (原本は英語)	2	1	ジョセフ・ビルリグス (Joseph Billings) および著者		1785年10月中旬から1794年まで	北極海の海岸を調査するため、またアフリカ等々の間にある海域の島々の位置を確定するための、地理的・天文学的な探検に関するユエチエリナーナ2世の命令によりシベリアとカムチャツカを探検した。
16	Franklin Reisen 3533	A narrative of the British Embassy to China, in the years 1792, 1793, & 1794 : containing the various circumstances of the Embassy, with accounts of the customs and manners of the Chinese, and a description of the country, towns, cities, &c. &c.	Aeneas Anderson	1795	英語	0	0	Macartneyを代表とする使節	Aeneas Anderson	1792年9月21日～ 1794年9月3日	中国の皇帝に謁見するため、使節が派遣された。
17	貴A 206	An historical, geographical and philosophical view of the Chinese Empire : comprehending a description of the fifteen provinces of China, Chinese Tartary, tributary states; natural history of China; government, religion, laws, manners and customs, literature, arts, sciences, manufactures, &c.	W. Winterbotham	1795	英語	5	1	Earl Macartneyの使節団	乗船者42名うち二人は旅行中に死亡	1792年9月21日～ 1794年9月3日	中国の皇帝 (乾隆帝) に謁見するため
18	Menger Reisen 42(1)(2)	Barrow's Reisen in China, 2 v.	John Barrow	1805	独語 (原本は英語)	6	0	著者と同じ	ジョージ・マカートニー、ジョン・スタウトン他、全94名。	1793年	イギリスと清との通商関係の改善、両国の外交関係の確立。
19	貴A 208(1)(2)	Voyage de l'ambassade de la compagnie des Indes Orientales Hollandaises, vers l'Empereur de la Chine, en 1794 et 1795 : ou se trouve la description de plusieurs parties de la Chine inconnues aux Européens & que cette ambassade a donné l'occasion de traverser, 2 v.	André Everard Van Braam Houckgeest	1797-1798	仏語	12	2	著者と同じ	M. de guignes (フランス人通訳者。その他「旅の通達札」が何名かいる。現地ではambassadeやmandarinatといった役職を持つ者として行動している。	1794年、東インド会社が著者を中華帝国における外交使節団第二位の地位を命じ、中国行が決定した。	

番号	請求記号	書名	著者名	発行年	言語	挿図	地図	旅行者	同行者	旅行年代	旅行目的
26	Franklin 5099	Diary of a journey overland, through the maritime Provinces of China, from Manchao, on the south coast of Hainan, to Canton, in the years 1819 and 1820	J.R. Supercargo	1822	英語	1	0	著者と同じ	Tacon, Captain M., Mr. B. (名前が書かれていない)	1819年11月11日～1820年2月17日	コーシシナでの貿易
27	Franklin 3287	Narrative of a pedestrian journey through Russia and Siberian Tariaty, from the frontiers of China to the Frozen sea and Kamtschatka, performed during the years 1820, 1821, 1822, and 1823	Capt. John Dundas Cochrane, R. N.	1824	英語	5	0	著者と同じ	著者一人で旅行した。(本書の序の部分に、集団でなく一人で旅行するメリットが言及されている。)	1820年～1823年	旅行して地誌を作り、読者に世界のことを知らしめるため。
28	Menger Reisen 179	Captian J. Dundas Cochrane's Fussreise durch Russland und die sibirische Tatarey, und von der chinesischen Gränze nach dem Eismeer und Kamtschatka (Narrative of John Dundas Cochrane and Siberian Tariaty, to the Frontiers of China to the Frozen Sea and Kamtschatka, 2 v., 1824の翻訳)	John Dundas Cochrane	1825	独語 (原本は英語)	0	0	著者と同じ	カムチャッカからコ克蘭の妻が同行。	1820年～1823年	陸路を使い、北極海の海岸をたどってアメリカまで行くこと。様々な生活状況と生活条件における人々と風俗に關して観察したことを書き留めること。
29	Menger Reisen 206	Trade and travel in the Far East, or, Recollections of twenty-one years, passed in Java, Singapore, Australia, and China	G.F. Davidson	1846	英語	0	0	著者と同じ	家族(子供もいる)	1823年～1844年	言及なし。ただし、著者が経済的、商業的利益に關心をもっている印象を受ける。
30	費A. 577	Journal of a residence in China and the neighbouring countries from 1830 to 1833	David Abeel	1835	英語	0	1	著者と同じ	船長Lavender, 4人のニューヨーク人	1829年10月14日～1833年8月18日	伝道
31	Franklin 3327	The journal of two voyages along the coast of China, in 1831, & 1832 : the first in a Chinese junk, the second in the British ship Lord Amherst, with notices of Siam, Corea, and the Loo-Choo islands, and remarks on the policy, religion, etc., of China	Charles Gutzlaff	1833	英語	0	0	著者と同じ	Mr. Hunter, Capt. Dawson, Mr. MacDohnac, 他6人	1831年～1832年	東アジアにキリスト教の伝道をするため。
32	Franklin 1878	Lettres a mes filles, sur mes voyages en Sibérie et en Chine (1833-1834)	M. le Compte Camille de Ste. A***	1835	仏語	2	0	著者と同じ	大きな隊列を組織してロシアの大地を移動していることを覆わせる文章が散見されるが、固有名は登場していない。	1833年6月10日～1834年11月21日	最初の手紙の文中に「私の旅の目的は金やプラチナ、銀、銅を採掘する作業を検討し、適切と思われる改善点を提案することだ」(p. 2)とある。
33	Menger Reisen 297	Five years in China, from 1842 to 1847 : with an account of the occupation of the islands of Labuan and Borneo by Her Majesty's forces	Lieut. F. E. Forbes, R.N.	1848	英語	18	1	著者と同じ	数人	1842年～1847年	・中国の習慣、風俗、国や人々の特性を学ぶ ・砲貨の収集
34	Franklin 879	Description methodique des produits divers recueillis dans un voyage en Chine = 萬物Isidore Hedde 辨	Isidore Hedde	1848	仏語	1	1	著者と同じ	記載なし	1844年～1846年	リヨンで絹布製造業を学び、サン＝テチエエンヌでリボン製造に従事していたIsidore Heddeが、フランス政府から採掘されたサン＝テチエエンヌの絹業組合の指示で、中国の絹及び絹織物業を研究するために同国に派遣された。

番号	請求記号	書名	著者名	発行年	言語	挿図	地図	旅行者	同行者	旅行年代	旅行目的
44	Menger Reisen 681	Mongolie et pays des Tangoutes	N. Prjévalski	1880	仏語 (原本は露語)	41	4	著者と同じ	E. Delmar Morgan (英語版翻訳者； 1873年冬～1874年 冬にかけて同行)、M. Piltzoff、Faust (大 旅の最後の方で亡く なる)、現地の方で ラハン隊	1870年11月初め～ 1874年9月5日	「序文」では「今から4年前 ロシア地理学会の発案と陸軍省の 懸命な協力の賜で、中国北部 及びその属国において、ある任 務を命じられた。我々はこれら の地域について不十分な情報し か持ち合わせていないのだ」と 書かれている。
45	Menger Reisen 565	De Paris à Pékin par terre, Sibérie-Mon- golie	Victor Meignan	1876	仏語	15	1	著者と同じ	C o n s t a n t i n Kocharov 他	1873年10月25日～ 1874年	探索されていない地域に行き、知 られていなかった詳細な情報を 提示するため、シベリアを冬に 行くのはこの季節がシベリア に特徴的だから。
46	Menger Reisen 669	Voyage à travers la Mongolie et la Chine	P. Pjassensky著、 Aug. Kuschinski訳	1883	仏語 (原本は露語)	90	1	著者と同じ	少なくとももある時 期、護衛団を含めて 80人で旅した	1874年3月14日～ 1875年	この探検隊長のSosnowskyは学 術的で商業的な探検隊である 位置づけられている(が、著者は商 業には興味がない。著者にとっ ては地理学的な研究のための旅 のようだった)。
47	Menger Reisen 84	Auf dem "Blauen" Flusse : Reise in das westliche China. 2. Ausg. (Le fleuve bleu : voyage dans la Chine oc- cidentale, 1879の翻訳)	著者Gaston de Bezaure 訳 Thomas Schwarz	1885	独語 (原本は仏語)	5	1	著者と同じ	同行者はいるが、氏 名不詳。	1874年～75年頃	不明。
48	Menger Reisen 90	Unbetretene Reisepfade in Japan : eine Reise in das Innere des Landes und nach den heiligen Stätten von Nikko und Yezo (Unbetreten Tracts in Japan, An Account of Travels in the Interior, Including Visits to the Aborigines of Yezo, and the Shrines of Nikko and Ise, 1880の翻訳)	イザベラ・ルー シー・バード	1886	独語 (原本は英語)	41	1	著者と同じ	伊藤鶴吉	1878年	ヨーロッパの人々はまだ訪れた ことのない日本の奥地を旅行し、 そこに住む人々の日常生活、彼 らの環境、物事に対する彼らの 見方等について調査すること。
49	Menger Reisen 415	Sibirien : geographische, ethnographische und historische Studien (Сибирь, как колония в географическом этнографическом и историческом отноше- нии, 1882の翻訳)	著者Nikolai M. Jadnizew (Николай М. Ядринцев) 、訳Eduard Petri	1886	独語 (原本は露語)	14	0	著者と同じ	不明。	1878年～80年	ロシアの陸者にシベリアの現状 について明らかにすることと、 ヤドリツツエアの祖国(シベリ ア)の成熟と祖国に確かな改革 を取り入れるために目下必要と されることを助言すること。
50	Menger Reisen 281(2)	The cruise of Her Majesty's ship "Bac- chant", 1879-1882. 2 v.	Prince Albert Victor, Prince George of Wales	1886	英語	57	50	著者と同じ	J.N. Dalton	1879年9月20日～ 1882年8月5日	皇太子、皇太子妃が、Victorと Georgeの心身の冒険を因つて、 旅に出した。船で日誌としての 仕事させて、責任を学ばせた。
51	Menger Reisen 779	Seule dans les steppes : épisodes de mon voyage aux pays des Kalmoucks et des Kirghiz	Carla Serena	1883	仏語	5	0	著者と同じ	なし	1880年頃	不明。パリ地理学会会長のフエ リデュナン・ド・レスツツツ Ferdinand de Lessepsの厳辞 には、本旅行をめぐる厚意に感 謝する旨が記されており、同学 会から何らかの依頼を受けての 旅行であったことが窺える。
52	Menger Reisen 280	Japan : Skizzen von Land und Leuten : mit besonderer Berücksichtigung kommerziel- ler Verhältnisse	A. H. エクスター ン (ライプツィヒ銀行 頭取 (Direktor))	1891	独語	51	4	著者と同じ	不明	1885年から1886年 まで	ドイツ初の金融機関・産業代表 者として海外に派遣されたため。

番号	請求記号	書名	著者名	発行年	言語	挿図	地図	旅行者	同行者	旅行年代	旅行目的
53	Menger Reisen 191	Durch das Land der Chinesen	海軍少尉W・クーシュロン＝オモエ (W. Coucheron-Aamot) 著、K・ロボルスキーによるノルウェー語からのドイツ語訳	1898	独語 (原本はノルウェー語)	34	0	著者と同じ	不明	1891年春頃から1892年5月まで	不明
54	Menger Reisen 178	China und Japan	M. Clotten	1898	独語	14	0	著者と同じ	鈴木 (日本の通訳・案内人) 他	1893年	不明。
55	Menger Reisen 197(1)(3)	Auf Missionspfaden in Japan. 3 v.	ヘルマン・ダルトン	1895	独語	0	0	著者自身の見聞かと推測される記事があるもの、実際の旅行者は不明。	不明	不明	宣教のため
56	Bernstein-Souvarine 389	En Sibérie	Jules Legras	1899	仏語	24	1	著者と同じ (現地ではLouis Antonovitchと名乗っているようだ)	その土地ごとに案内人・同行者がいる。主な同行者 Gavril Petrovitch	①1896年秋②1897年?	②フランス文部省の使命 (詳細不明) を果たすため、1回目のたびびに引き続き続き個人的研究をするため (この研究の主眼はシベリア横断鉄道による移動にある)。
57	Menger Reisen 239	Le Japon politique, économique, et social. 2e ed.	Henry Dumolard	1904	仏語	0	0	著者と同じ	記載なし	1897年11月～1900年頃	急速な近代化を果たした日本の現在の姿を正確に捕捉し、提示するため。著者は政治経済誌の記者であり、本書は純然たる旅行記ではない。
58	Menger Reisen 360	In the uttermost East : being an account of investigations among the natives and Russian convicts of the island of Sakhalin, with notes of travel in Korea, Siberia, and Manchuria	Charles H. Hawes	1903	英語	72	4	著者と同じ	言及なし	19世紀末～20世紀初頭 (頃)	シベリアの調査。先行研究があまりなされなかつたので、自らシベリアに赴いて調査活動を行った。
59	Menger Reisen 515	Deux années au Setchouen : récit de voyage, étude géographique, sociale et économique	Le Dr A.-F. Legendre	1905	仏語	7	1	著者と同じ	妻、Philippe Berthelot (領事)	1902? ~ 1904	外務省からの派遣。著者は四川省の帝国医学学校 (Ecole de Médecine Impériale) の校長。